

～☆さぬき市民病院の紹介&活動内容☆～

当院の糖尿病センターは2007年4月に日本糖尿病学会認定教育施設に認定と同時に開設されました。糖尿病専門医2名とCDEJ24名が糖尿病患者の初期治療及び治療方針の決定さらに重症合併症に苦しむ患者にトータルケアをチーム診療体制で取り組んでいます。

2001年からこれまでに35名のCDEJが合格しており、2014年12月現在、看護師12名、管理栄養士4名、薬剤師3名、臨床検査技師3名、理学療法士2名の合計24名が指導業務にあたっています。当初は糖尿病専門医が1名で受験対策勉強会をおこなっていました。2006年から医師だけではなく、糖尿病チームで受験対策勉強会のシステムを構築。年間スケジュールの立案、場所の確保、既得者の事前学習など、チーム一丸となって、取り組んできました。結果、8年間合格率100%の快挙を更新中です。各職種による勉強会をおこなうことで受験者の強みと励みになっており現在まで16名のCDEJが誕生しています。また指導する事により、自身の得意不得意も明確となり、新たな気づきが個人の自信に繋がり、指導力を成長させています。



【 CDEJ 受験対策 】



【 糖尿病プロジェクトチーム 】

～☆活動内容☆～

当院では2010年から糖尿病教室の一貫として、バイキング形式の食事会を、年1回開催しています。参加者がリラックスして交流できるように、ホテルを借り切り、定数30名限定でおこなっています。料理内容も、ホテルのシェフと管理栄養士が再々打合せをおこない、数十種類の料理を準備しています。

「日常の食事で指示カロリーを認識できているか」を目的に、実際に料理を個々で選択してもらい、CDEJが各個人の指示カロリーと合っているかを気づくようにアドバイスをおこない、意識付けをおこなう良い機会となっています。

終了後のアンケート結果では、日々おこなっていることの振り返りができ「家族が気を遣って作ってくれる料理に近かった」「食事の参考にしたい」など楽しい時間を共有し、お互いの悩みの理解ができ、また次回には家族と一緒に参加したいなど意欲的な言動も聞かれました。

さぬき市民病院 糖尿病プロジェクトチーム 白井恵子



【バイキング風景】



【バイキングメニュー】